

まちみらい ニュース Vol.122 News

編集 公益財団法人まちみらい千代田
〒101-0054 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
http://www.chiyoda-days.jp

まちみらい千代田 公式フェイスブック
https://www.facebook.com/pages/公益財団法人まちみらい千代田/432697173544316

まちみらい千代田 公式ツイッター
https://twitter.com/MMChiyoda

次回「ちよだ青空市」は
6月3日(水)11:00～15:00開催
(第1水曜日です)

問合せ NPO法人農商工連
携サポートセンター
☎5259-8097

会場 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア・ウッドデッキ
地下鉄東西線竹橋駅3B出口より徒歩2分
http://www.npo-noshokorenkei.jp/index.html



ビジネス法律相談(無料)
今回は6月12日(金)です！

まちみらい千代田では、毎月第2金曜日に千代田区内の中小企業のためのビジネス法律相談を実施します。完全予約制となっていますので、まずは、お電話にてお問合わせください。

日時 毎月第2金曜日
①13時～②14時～③15時～※1回45分
場所 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア
申込
・お電話にて予約状況をご確認ください。
・実施日の2日前の正午までにご予約ください。
・相談内容は、ビジネス法律相談に限ります。
問合せ 産業まちづくりグループ
☎3233-7558

マンション寄席
～ちよだマンション・カフェ～

5月に引き続き、6月の「ちよだマンション・カフェ」も落語家の「三遊亭楽麻呂師匠」によるマンションに関する創作落語を披露します。

落語の後は、参加者同士で交流もできます。お気軽にお越しください。

◆日時・会場
平成27年6月13日(土) 14:00～16:00
和泉橋区民館 4階洋室B・C
(神田佐久間町1-11)
◆木戸銭(参加費) 無料
◆内容
マンション寄席・マンション居住者同士の交流・意見交換
◆問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-3223



三遊亭楽麻呂

大ナマズにご用心! ～マンション居住者向けの防災パンフレットを発行～

まちみらい千代田では、マンション居住者向けの防災パンフレットとして、「大ナマズにご用心!」を発行しました。千代田区は、人口の約85%がマンションを含む共同住宅に居住しており、マンションの防災対策が急務となっています。しかし、「平成25年度千代田区分譲マンション実態調査」(432棟中回答数250棟)では、約70%のマンションが防災訓練等を実施していないとの回答がありました。震災等の災害時は、自助の備えはもちろん、マンションの居住者がお互いに助け合うことが生きるため必要不可欠です。また、地域との連携も重要となっています。今回、「大ナマズにご用心!」では、7つの「知る」で、マンションの防災対策や千代田区の地域特性についてわかりやすく説明しています。まちみらい千代田は、今後、この冊子を活用して区内マンションに呼び掛け、各マンションの実態に合った防災計画の策定をさらに進めていきます。



▲「大ナマズにご用心!」(B5判全24ページ)



▲マンションでの防災対策についてわかりやすく説明しています。

この冊子は、区内マンションの管理組合に配付するほか、区の出張所や総合窓口課で、千代田区に転入する方にも配付します。ご希望の方には個別にも配付しますので、お気軽にお問い合わせください。
問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-3223

マンション無料相談窓口開設中!

日時 月曜日～金曜日(土日祝を除く)
午前9時から午後5時
(受付は4時まで)
場所 千代田区神田錦町3-21
まちみらい千代田
対象 千代田区内のマンション居住者及び所有者
予約 事前に日時・内容をお知らせください。よりの確な相談ができます。なお、個人情報公開されることはありません。
問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-3223

第15回千代田まちづくりサポート 公開審査会を 6月6日(土)に開催

「千代田まちづくりサポート」は、住みよい環境づくりにつながるみなさんのまちづくり活動を助成します。みなさんから申請されたまちづくり活動について公開の場で審査します。当日は、各申請グループからの発表・審査員による質疑を行い、助成グループと助成額を決定します。今回は「一般部門」、審査員の挙手のみで決まる「はじめ部門」のほか、新たに「テーマ部門」をつくりました。今回はまちみらい千代田から「マンションコミュニティに関する提案」、「まちづくりサポートに関する提案」をテーマとした活動を募集します。この部門で助成を受けた活動は、まちみらい千代田と協働しながら活動をすすめていただけます。



▲公開審査会の様子

午後5時(終了時刻は変更する場合があります)
場所 ちよだプラットフォームスクウェア5階会議室
(神田錦町3-21※入場・観覧は自由(無料)です。
締切せまる! 5月27日(水)
申請は、まちみらい千代田窓口で受付けております(郵送・FAX・Eメール不可)。
問合せ 住宅まちづくり推進担当
☎3233-17556

詳細はこちら <https://www.chiyoda-days.jp/future/machisapo2015.html>

連載 がんばる中小企業応援リレーコラム ～企業の社会価値を高める～ 第4回 ブランド戦略で企業価値を高めよう! 中小企業診断士 河合 史門

今回は、企業価値(あるいは商品・サービスの価値)を顧客の側から見てみます。すなわち、「ブランド」の問題です。ブランドの定義は一つに定まっていますが、一般に「ある一定規模以上の消費者から何らかのポジティブな感情を持って支持される商品・企業」を指します。ブランドが確立すると、同じ性能の「製品」でも高く売れる「商品」になります。では、ブランドはどうすれば確立できるでしょう。強い理念・夢を持っている企業ほど、ブランド企業になりやすいということが出来ます。まず、御社の企業理念や夢を確認してみましょう。(ごく簡単なシートの空欄をうめていただきます)そして、次にブランド確立までの手順を確認いたします。御社の企業理念や夢を確認したら、企業のあるべき姿を明確化し、自社の強み・弱みを把握し、顧客のニーズを調査します。それを踏まえて、ブランディング推進チームを構築し、活動に入ります。そして大切なことは、ブランドの全体像が明確であり、統一がとれていることです。ここは5つのステップ(①ラショナル、②ブランディング・ターゲット、③ファンクショナル・ベネフィット、④エモーショナル・ベネフィット、⑤ブランド・パーソナリティ)でご説明いたします。ところで、ブランドというとき、形のある商品、あるいはそれを作るメーカーをイメージされるかと思いますが、しかし、形のない商品、サービスもブランドが問題になりますし、メーカー以外の企業やお店もブランドは大切です。ただ、本稿はわかりやすく、形のある商品、あるいはそれを作るメーカーを取り上げてご説明しています。

※このコラムの全文は千代田デイズ「中小企業応援リレーコラム」に掲載しています。

<http://www.chiyoda-days.jp/column/relaycolumn/>

連載 千代田まちづくりサポート(第7回)

番町まちづくり文学館

「番町まちづくり文学館」(代表・新井巖^{あらいいお}さん)は、第2回から第4回(平成11～13年)の「千代田まちづくりサポート」で助成対象団体として認められました。

新井さん「私が住む六番町のまちづくりを考える中で、明治から昭和にかけて、泉鏡花、有島武郎、島崎藤村など、数多くの文学者や文化人が六番町に住んでいたことがわかりました。ところが、住民に知られないまま、それらの文化的な痕跡が消えていく危機的状況がありました。」

そこで新井さんたちは、「まちづくりサポート」の助成を受けて、「番町文芸地図」(文学者たちの旧宅マップ)を作成、配布しました。その後、平成15～19年度には、旧番町出張所・区民館跡地で

「わがまち人物館」の展示を行いました。こうした活動は、千代田区の地域コミュニティ活性化事業として集約され、番町文人通り周辺への「まちの記憶保存プレート」設置や「現代番町廻町絵図」作成へと、つながっていきました。こうした取り組みをも

▶新井さんの著書「番町廻町「幻の文人町」を歩く」



とに、新井さんは「番町廻町「幻の文人町」を歩く」(平成20年言視舎刊)を出版しました。新井さん「これからも、番町・廻町の地に残されたまちの文化遺産を発掘・記憶し、文化の香りに満ちた地域の特色を

まちづくりに活かしていきたい、と考えています。」

番町まちづくり文学館 代表 新井巖
千代田区二番町1-2 番町ハイム610
☎3262-5411 FAX3262-5412

千代田区「まちの記憶保存プレート」
まちの記憶保存プレートは、さまざまな歴史の足跡を記録したプレートを設置し、後世に伝えていくとともに、地域の人々や来訪者がその歴史に思いを馳せるきっかけづくりとしていくものです。千代田区内において歴史上の人物・出来事と関係ある建物や場所を所有されている方はぜひご応募ください。
問合せ 千代田区 地域振興部コミュニティ振興課
☎5211-4180 FAX3264-2201
✉komi@city.chiyoda.lg.jp

第7回 千代田ビジネス大賞 表彰企業紹介

紹介記事・ビジネス大賞に関する問合せ 産業まちづくりグループ ☎3233-7558

東京商工会議所千代田支部会長賞

株式会社こどもの館

代表取締役 多田 昭栄^{ただ しょうえい}

～「楽しい」をつくるのが「楽しい」～

株式会社こどもの館は、「衆智創造」をテーマに、千代田区猿楽町にて創業以来39年、「夢」、「笑顔」、「楽しい」を提供する商品の企画・開発・デザイン制作から生産、納品までの一貫したトータルサポートを依頼主様の要求に応じて行ってまいりました。

弊社の部門体制は、玩具、文具、雑貨、ゲームを中心としたキャラクター等の知的財産に関連する「エンターテインメント部門」、PC・モバイルコンテンツを専門とした「デジタルコンテンツ部門」、匠の技のフィギュア造形とデジタル3D造形機器を駆使した「デジタルプロダクツ部



▲社内には、「無邪気」、「本気」、「根気」がふれています。

門」まで、業務範囲も大幅に成長しました。社員個人の持つ知識と経験を活かし、社会を通してクリエイターとして「自分で考え」、ビジネスマンとして「自分で成果」をあげられるプロフェッショナル集団の力を発揮しております。

弊社は、長年、子ども産業に従事した経験から、「こども心の館」として、既存のマーケットはもとより、幅広いニーズを持つホビー・マーケットへ、さらなる提案と新たな商品とサービスの提供を行ってまいります。



株式会社こどもの館
☎3233-3441
URL <http://www.kodomonoyakata.co.jp/>

千代田区長賞

株式会社エス・エー・ピー

代表取締役社長 有川 雄二郎^{ありかわ ゆうじろう}

～世界遺産劇場～

千代田を除いて、お役所は「一過性」ということをひどく嫌って、一度だけの騒ぎをしても何ら行政効果はない、その一過性の最たるものがエス・エー・ピーのしている「イベント」だ、というようなことを、よく言われます。

一過性が何故悪い、人生は一過性だし、役所でああなたが担当者なのも一過性ですよ、とラディカルな反論をしても聞いてくれないので、まっとうに人間性の原理を説明し、人の心を動かす出来事はすべて一過性のものであり、ルーティンな出来事は時間に埋没していくものだ、と説き、感極まった1回きりの、あの光景がその後の行動を支配し、歴史を変えて行くのです、1964年の東京オリンピックは、50年前の、2週間足ら



▲世界遺産劇場(中城城跡 2014年11月)

れが国民に与えた影響は今も続き、また苦勞しながら再び行おうとトライしているわけです、などと説明しますが、大体は聞いてくれません。

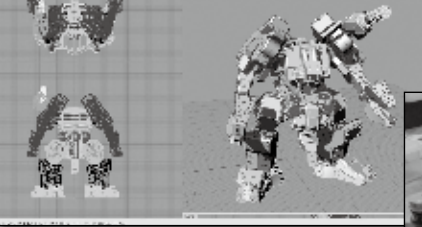
エス・エー・ピーは、感極まるイベントを続けます。感極まるためには、登場するアーティストも、行う空間も迫力あるものでなければなりません。しかし、1回しかやらない、ということが最も大事だと思っています。演ずるものも、見るものも緊張するからです。栄えある区長賞を頂きました。日本一文化性の高い、千代田区に事務所を置いて良かった、と思いました。



株式会社エス・エー・ピー
☎5226-7830
URL <http://www.sap-co.jp/>

3D造形から生産まで

3Dモデリングソフトでの造形



「企画・制作から生産・納品」までをチームとして運営管理し、ハイクオリティでのご納品を実現します。

「デジタル機器」を駆使したリアリティのある繊細な造形力は高い評価をいただいております。



株式会社

こどもの館

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-7-1 TOHYUビル(2F)
TEL: 03-3233-3441(代) FAX: 03-3293-0953
<http://www.kodomonoyakata.co.jp/>



SAP 株式会社エス・エー・ピー

これからの主な公演

厳島神社 5月30日(土) 坂本真綾
31日(日) クリスハート
大山祇神社(愛媛・大三島) 5月30(土)31日(日) 市川猿之助
東京大学 6月15日(月) 市川猿之助 ほか
平泉(観自在王院跡) 8月(期日未定) 片岡愛之助
高野山(根本大塔前) 8月(期日未定) MISIA
薬師寺(講堂前) 8月(期日未定) 市川猿之助
三内丸山縄文遺跡(青森) ... 9月5日(土) 秦基博
6日(日) レキシ
出雲大社 10月7日(水) 市川海老蔵
日光東照宮 10月11(日)12日(月) 市川海老蔵

【お問合せ】 SAP 03-5226-8537 (平日10:00-18:00) 【ホームページ】 <http://www.sap-co.jp/>